

●シリーズ概要

「JMRC 群馬ラリーシリーズ」（以下 群馬ラリーシリーズ）は、初心者から上級者まで幅広く楽しめる開催を目指しています。2023年も全5戦の開催となり、JMRC関東ラリーカップのポイントも同時に取得できます。全てのラリーが公道を閉鎖したスペシャルステージ（以下SS）で構成され、速いクレーが上位成績を残すことができるラリーで、初心者の方でもラリーの醍醐味を満喫できる設定です。また、将来上級イベントにステップアップする場合に必要なラリー全般の基礎技術を習得するのに、最適なイベントです。

●2023年 群馬ラリーシリーズカレンダー

	開催日時	大会名称	主催クラブ	格式	場所・距離	路面
第1戦	4/22～23	ネコステ山岳ラリー2023 ※JAF東日本ラリー選手権併設	ネコステラリーチーム	C	群馬・埼玉 180km	ターマック
第2戦	5/20～21	MSCCスプリングラリー2023 ※JAF東日本ラリー選手権併設	マツダスポーツカークラブ	D	群馬 150km	ターマック
第3戦	6/17～18	あさま隠山岳ラリー2023	オートスポーツクラブ あさま隠	D	吾妻郡 200km	ターマック
第4戦	9/2～3	Play-Stageラリー	プレステージモーター スポーツクラブ	D	群馬 250km	ターマック
第5戦	10/7～8	第69回チームif山岳ラリー	オートスポーツクラブイフ	D	嬭恋村 140km	ターマック

※イベント内容・路面については、変更が入る可能性があります。各大会の特別規則書を確認して下さい。

●連絡先一覧

	クラブ名	担当者	TEL	FAX	携帯	メール/備考
第1戦	NECOSTE	高野 啓嗣	049-277-2005	049-277-2006	090-3085-2071	bsf_taka@yahoo.co.jp
第2戦	MSCC	後藤 茂行	-	03-3778-1230	090-3139-0923	msscrally@mazdasportscarclub.jp
第3戦	あさま隠	片貝 努	0279-67-2425	0279-67-2425	090-8894-4684	katakai@xp.wind.jp
第4戦	PRESTIGE	青柳 要一	-	-	090-3518-6745	sutou@peach.ocn.ne.jp (須藤)
第5戦	チームイフ	篠原 悦男	0276-74-2356	0276-72-7243	090-8941-0981	fwhw5937@gmail.com

※電話連絡については、常識のある時間帯をお願いします。

●競技会規則

本競技会は日本自動車連盟（J A F）公認の基にF I A国際モータースポーツ競技規則ならびにそれに準拠した2023年J A F国内競技規則および2023年J M R C関東地域ラリー統一規則書、群馬ラリーシリーズ統一規則書および各競技会特別規則にしたがって開催される。

●参加資格

1. 1台の車両に乗車する定員はドライバー、コ・ドライバーの2名（以下クルー）とし、2023年のJ A F国内競技運転者許可証B級以上の所有者でなければならない。
2. 20歳未満の者が参加する場合には、親権者の承諾を必要とする。

●参加料

1台につき 35,000円～50,000円程度を予定。（宿泊を伴うイベントは宿泊費を上乗せする場合があります。）

クルーがJ M R Cに加入していない場合1名につき1,000円増額する場合があります。詳細は各競技会特別規則書に明記される。

●ラリー保険の加入

当該競技会に有効な任意保険（対人 / 対物 / 人身傷害若しくは搭乗者傷害）または主催者が認めた場合はJ M R C関東ラリー見舞金制度への加入を義務づける。

J M R C関東ラリー見舞金制度を使用する場合は、J M R C関東の加盟クラブ・団体に登録のうえ、J M R C関東スポーツ安全保険制度（BまたはC区分）又はJ M R C関東見舞金制度に加入していること。（詳細は2023年J M R C関東地域ラリー統一規則書のJ M R C関東ラリー見舞金制度を参照）

個人加入できない場合はオーガナイザーが団体加入を行なう。但し、各競技会特別規則書等で記載の〆切日程を厳守すること。（〆切日程を過ぎた場合、加入できない。）詳細は各オーガナイザーに確認のこと。

●参加車両及び安全装備

※シートベルトの装着においては事前にドライバー、コ・ドライバーの装着具合を確認しておくこと。

1. J A F国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に定めるRRN、RJ、RF、RPN、AE車両、又はRB車両（2002年ラリー車両規定に従って製作したラリー車両。詳細はJMRC関東ラリー部会ホームページを参照）とする。
2. 参加車両は6点式以上のロールバーを装着することを義務とする。更に、乗員保護を目的とする追加バーの装着を強く推奨する。ロールバー及び追加バーの取付け要項は2023年J A F国内競技車両規則第1編、第2編の安全規定におけるロールバーまたは、ロールゲージの項を参照し取り付けること。また、**5点式以上**の安全ベルトを装着することを義務とする。安全ベルトはJ A F国内競技車両規則第2編ラリー車両規定 第2章安全規定 第2条に合致したものの装備を強く推奨する。安全性の観点から、シートベルトに裂傷が認められるものを使用している場合は、競技会への参加を拒否することがある。

（※2023年 J A F 国内競技車両規則に準拠し、Y字レイアウトの胸部拘束用ベルトの使用は禁止する。）

シートベルトの取付けは、2023年国内競技車両規則第4編ラリー競技およびスピード行事競技における安全ベルトに関する指導要綱に準拠し取り付けること（アイボルトは既存のシートベルト取り付け部に装着することを強く推奨する。また、シートレールに追加された部位への装着は不可とする）。2023年JMRC群馬ラリーシリーズではシート/シートベルトの取付け方法、車室内の積載物の固定方法について、厳重に確認する。

3. 装備品

3.1. A 3版OK/SOSボード2枚、非常用停止表示板（三角停止板）2枚、非常用信号灯（発煙筒、赤色灯など）、牽引ロープ、救急薬品、及びラリー車両規定第2編第2章第3条に定められた消火器（内容量：2kg以上）を搭載すること。

3.2. 2023年JMRC群馬ラリーシリーズでは、前年に引き続きラリーストリームを使用予定です。当日使用可能な通信機器（スマートフォン（Android OS、iOS））の用意をお願いします。詳細はラリーストリームのホームページ参照のこと。

<https://www.rallystream.net/competitor/competitors-guide>

4. クルーの安全装備

クルーが着用するものは、2023年国内競技車両規則第4編付則ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する付則に従ったヘルメット（「スピード行事競技用ヘルメットに関する指導要項」に従ったグレード以上、かつ、製造後「10年」経過したものは使用してはならない）、およびレーシングスーツを着用することを義務とし、ドライバーはレーシンググローブも着用することを義務とする。レーシングスーツとは以下の①～④を参照のこと。①全体が1体式となった（いわゆるレーシングスーツ）形状であること。②表地が防炎性素材生地であること。③1枚（1層）以上の防炎性素材生地の裏地を有していることが望ましい。④救出の際に利用できる肩位置の引き手（肩章）を有することが望ましい。

尚、SSを有する競技会参加においては、頭部および頸部の保護装置（FHRシステム、HANS等）の装着を強く推奨する。（2024年以降、頭部および頸部の保護装置については必着とする。）

5. 騒音公害防止上の音量規制

触媒コンバーター以降の排気管及びマフラーについて車検（国土交通省が行う自動車検査登録制度）合格時の物を使用する事とすること。詳細については各競技会特別規則書を参照し、著しく音量の大きい車両は各競技会オーガナイザーより参加を拒否される場合がある。

6. ホイールおよびタイヤ

2023年群馬ラリーシリーズは、JMRC関東ラリー統一規則第2章第3条および第4条に準ずる。

※この規則はタイヤサイズの太い物を選択する事を推奨するものではありません。

使用タイヤについて、各オーガナイザーに確認のこと。また、いかなる場合でもスリップサインが出ているタイヤの使用は禁止する。

7. リストリクター

2023年JMRC群馬ラリーシリーズでは、リストリクターの装着の義務化は行なわない。

8. 補助灯

- 8.1. 取付け出来る補助灯は2灯までとし、点灯時は車幅灯及び番号灯と連動しなければならない。
又照射部の取り付け高さはヘッドライトの上縁を超えないこと。
- 8.2. ヘッドライトより高いボンネット上に2灯又は4灯の補助灯を取付けた場合、より高い位置の2灯をヘッドライトのハイビームとする事で認められる。
- 8.3. 車両に標準のフォグランプを含め、同時点灯出来るヘッドライトと補助灯は合計で6灯までとする。
- 8.4. 4灯一体型ヘッドライト装着車両に2個以上の補助灯を取り付ける場合は同時に8灯点灯にならないようにすること。

9. 附則

本シリーズ統一規則書の記載内容において疑義が発生した場合は、シリーズ運営委員会にて対策を検討し方針決定をする。

●クラス区分

- | | | |
|---------|---|--|
| 1クラス | : | 排気量2500ccを超える4輪駆動車両。 |
| 2クラス | : | 排気量1500ccを超える2輪駆動車両
及び、排気量1500ccを超え2500ccを含み2500ccまでの4輪駆動
車両。 |
| 3クラス | : | 排気量1500ccを含み1500ccまでの車両。
※1600cc以下のRPN車両は3クラスに含めるものとする。 |
| オープンクラス | : | 各競技会特別規則書により上記以外のクラスを設定できるがその部門への参
加の場合シリーズ表彰対象外とし、シリーズポイントは与えられない。 |

●オープンクラス

- ・参加車両は上記記載の参加車両規則に従っていること。
- ・クラス区分については各戦の主催者により、各競技会特別規則書に記載する。
- ・表彰については各戦の主催者の判断に従う。また、シリーズ表彰は対象外とする。

●賞典

- ・各クラス1～3位、JAFメダル、または楯、副賞。その他賞典及び賞典の内容は各競技会特別規則書にて示す。

●シリーズポイント及び表彰

1. シリーズポイント

シリーズポイントは各クラス共ドライバー、コ・ドライバーに対し、表のとおりポイントを与える。

（参加台数に関わらず同様のポイントとする。）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
Pt	20	15	12	10	8	6	4	3	2	1

2. 有効戦数及び最低参戦数

全戦のポイントを有効とし、同一クラスにおいて最低2戦以上参戦した場合にシリーズ表彰対象とする。

3. クラス成立

各クラス1台から成立するものとする。

4. シリーズ成立

2戦以上開催された場合にシリーズ成立とする。

5. シリーズ表彰

シリーズ表彰は各クラスにおいてドライバー、コ・ドライバー両部門を原則6位まで表彰する。

複数名の競技者が同一の得点を得た場合は、参加回数の多い者、上位ポイント早期獲得者の順で決定する。

その他疑義が発生した場合はシリーズ運営委員会が決定をする。

●シリーズ表彰式

- ・2023年度のシリーズ表彰式は別途、告知する。

●練習走行の禁止

- ・公道での練習走行を禁止する。発覚した場合、群馬ラリーシリーズを含むJMRC関東地域のラリーシリーズすべてにおいて参加を拒否することがある。

●その他

- ・マシントラブル等で動かなくなった方へ、有償になりますが、レッカーの紹介をします。

●新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応

- ・イベント会場に入場する参加者（サービス員含む）は全員（1名1枚）、問診票をイベント当日に持参すること。用紙はJMRC群馬ラリーシリーズホームページよりダウンロードしてください。提出しない場合は当日会場への入場をお断りする場合があります。
- ・イベント会場に入場する際、検温をおこない、37.5℃以上が確認された場合、会場への入場をお断りする場合がございます。
- ・感染症の状況により、本対応を行わない場合もあります。各戦の主催者により、各競技会特別規則書に記載します。

■運営委員会

運営委員長	石倉 聡	JMRC群馬リ-部会長	seijin.ae111@me.com
運営委員	青木 正人	あさま隠	freshsaimon141@gmail.com
運営委員	青柳 要一	プレステージ	dave-yajisan@ezweb.ne.jp
運営委員	後藤 茂行	MSCC	msscrrally@mazdasportscarclub.jp
運営委員	篠原 悦男	チーム i f	fwhw5937@gmail.com
運営委員	高野 啓嗣	ネコステ	bsf_taka@yahoo.co.jp
運営事務局長	小野寺 奈央	JMRC群馬リ-副部会長	onodera.nao@gmail.com
運営事務局	福村 幸則	うめぐみ	fukumura@togiya-kk.co.jp
運営事務局	松岡 淳	TAG	tatunosuke@hotmail.com

■事務局

JMRC群馬ラリーシリーズ事務局 〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町2458-13 MOSCO高崎事務所内
TEL : 027-386-4365 E-Mail : info@gunma-rally.com

以上